



2022年2月改定

ユニセフ・ラブウォーク



健康づくりと国際協力



(公財)日本ユニセフ協会 団体・企業事業部

〒108-8607 東京都港区高輪4-6-12 ユニセフハウス4F

TEL 03-5789-2012 FAX 03-5789-2032 Email event-dr@unicef.or.jp

ユニセフ・ラブウォーク

～健康の喜びを世界の子どもたちとわかちあう～

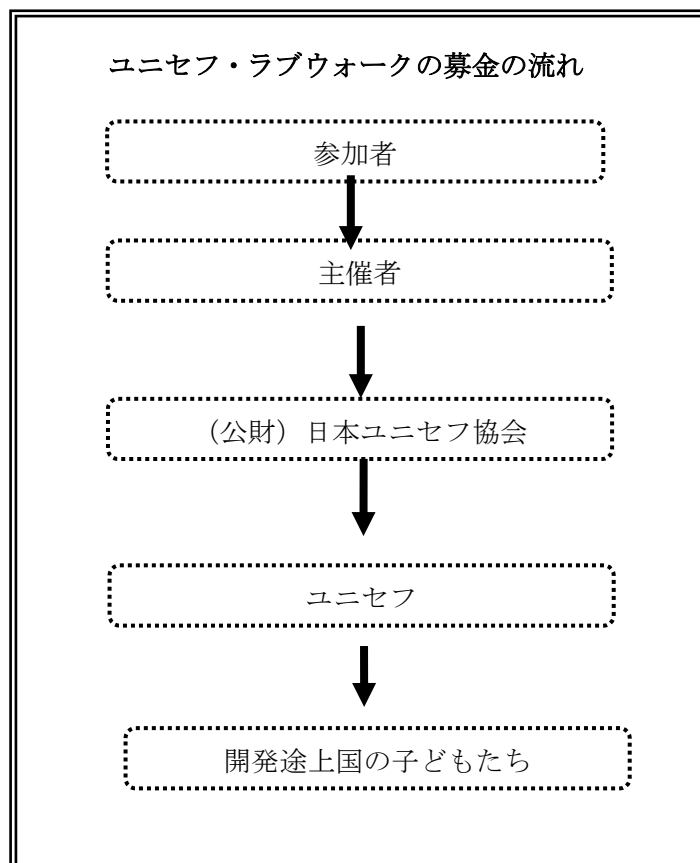
ユニセフ・ラブウォーク、この「健康づくりのためのウォーキング」と世界の子どもたちの福祉に役立てる「募金」を結びつけたユニークな活動は1965年イギリスで生まれ、欧米諸国では気軽に出来るユニセフ支援活動として盛んに行われています。

ユニセフ（国連児童基金）は第二次世界大戦後、戦争に被災した子どもたちを救済するために創られました。日本の子どもたちも1949年から1964年まで、脱脂粉乳や衣料の支援を受けました。現在は世界中の子どもたちの諸権利が守られるよう、各国政府、NGO、そして地域社会の人々と協力し、支援事業を展開しています。

ユニセフの活動資金の三分の二は各国政府の拠出金でまかなわれていますが、残りの三分の一は民間（個人、団体、企業など）から寄せられた募金です。ラブウォークは民間で行われるユニセフの募金活動の一形態です。いつでも、どこでも創意や工夫次第で楽しく出来る参加型、イベント型の募金活動です。

日本ではユニセフ・ラブウォークは日本ラブウォーク協議会（元日本ユニセフ・ラブウォーク協議会）の発足に伴い1983年に始まりました。近年のスポーツ、健康運動の多様化により、ウォーキングだけではなく健康な汗をかく様々なスポーツ、有酸素運動等もラブウォーク運動の一端と捉える様になりました。スポーツジムでも、競技場でも、或いは野山でも、それがウォーキングでなくとも『ラブウォーク』イベントを実施できます。

色々なアイデアがあると思います。楽しく、安全なイベントを企画し実施して下さい。それが、世界の子どもたちの励ましにもなるでしょう。



ラブワーク実施手順

イベント実施主催者

(公財)日本ユニセフ協会
団体・企業事業部ラブワーク担当

① 計画を立てる

- ・実施種目・内容を決める
- ・期日・時間・対象を決める
- ・準備スタッフの組織作り
(実行委員会の場合あり)
- ・参加費の設定、予算を立てる
- ・募集チラシ案をつくる

※チラシにラブワークのロゴ
を使用される場合には、事前に
原稿案をお送りください。

※コロナ感染予防策のお願い

② ラブワーク実施申込書を送付

③ 承認書とラブワーク パッケージの送付

ポスター、ユニセフチラシ、募金箱、
振込用紙、ラブワークサックスチラシ等

④ 保険をかける

⑤ ラブワークの実施

安全対策、雨天対策をしっかり行い、
マナーを守り楽しく実施しましょう。

保険については、お近くの保険
会社にお問い合わせください。
(イベント保険など)

⑥ イベントの精算等

- ・実施報告書送付
- ・募金の振り込み

振込み先
ゆうちょ銀行
振替口座 00190-5-31000
(公財)日本ユニセフ協会
通信欄にラブワークと記載のこと

⑦ 領収書と感謝レター ((公財)日本ユニセフ協会名)を送 付

『ラブウォーク』イベントを計画しよう

例えば・・・

『ラブウォーク』はウォーキングだけではなく、健康のための様々な運動のイベントでも実施できます。

ハイキングや山歩き等の行事に『ラブウォーク』の名称をつけて実施してみましょう。

- 1) 研修会や会議の時間の一部でウォーキングを実施して『ラブウォーク』
- 2) 学校や町内会の運動会、文化祭や夏祭りのプログラムの1つとしてウォーキングを実施。
- 3) 水中ウォーキング、サイクリング、エアロビクスダンスなどの健康のための有酸素運動に限り実施。



©日本エアロビクフィットネス協会



©日本ユニセフ協会/2017

《注意事項》

注1：イベント名について

- ・特定の企業名・団体名はつけることはできません。
- ・イベント名には必ず「ユニセフ」「ラブウォーク」の名称は使用してください。
 - * ウォーキング以外で実施する場合には、ラブの後を種目名に変更することが可能です。 **例えば、ユニセフ希望が丘ラブスイム**

注2：主催者の表記について

主催を実行委員会で開催する場合は、構成グループや責任者名を表示してください。

注3：参加費の表記について

チラシなどに参加費についての表記をする場合には「参加費〇〇〇円には、最低 200 円以上のユニセフ募金が含まれています。」というように、募金が含まれている旨を明記してください。

ユニセフ・ラブウォーク 実施申込書

イベント名称	
イベント内容	☐ ウォーキング ☐ その他（具体的に_____）
実施日時	年 月 日 曜日 _____ : _____ ~ _____ : _____
実施場所	
予定参加者数・参加費	【参加者数】 _____ 名 【1名あたり参加費】 _____ 円 うち募金額 _____ 円 ＊経費の面から、参加者は20名以上、1名につき200円以上を募金としてお願い致します。
主催者	【主催者名】 代表者名： _____ ㊞
	【主な活動内容】
	【ご連絡先】 〒 _____
ご担当者 (資料送付先・ ご連絡先が主催 者と異なる場 合)	【氏名】 【ご連絡先】 〒 _____ E-mail : _____ FAX : _____ TEL : _____
後援・協賛 (もしあれば)	
ロゴマーク 使用	ラブウォークロゴマーク使用： ☐ 希望する ☐ 希望しない ＊ロゴマークを使用される資料（チラシ等）のコピーを添付してください。
資料請求欄	☐ ユニセフチラシ _____ 枚 ☐ ユニセフポスター _____ 枚 ☐ ラブウォークサンクスチラシ _____ 枚 ☐ 募金箱 _____ 個（＊原則300名まで1箱とさせていただきます） ☐ その他 ＊参加人数分を超える資料は送付できない場合がございます。

【必ず実施後お送り下さい】

*振込金受取書（コピー）も添付してください。

ユニセフ・ラブウォーク イベント実施報告書

年 月 日

イベント名称		
イベント主催者		
報告担当者名		
実施日時		
実施場所		
参加者数		
募金額	①参加費の募金額	_____円 × _____人 計 _____円
	②その他募金額	_____円
	募金合計（①+②）	_____円
領収書の送付先		〒
ラブウォークの実施感想（ご意見やご提案）等をどうぞ。またイベントのチラシや写真なども添付して下さい。お送り頂いた写真や電子画像は（公財）日本ユニセフ協会の媒体に使わせていただくことがございます。御了承下さい。尚、頂いた写真や電子画像は返却致しかねます。		

2022 年度「ユニセフ・ラブウォーク」実施テーマ

～できることから始めよう～



© UNICEF/UNI205862/Karimi

約 6 秒に 1 人、1 年間に 520 万人、現在も世界では 5 歳未満の幼い子どもたちが肺炎、下痢、はしかなど簡単に予防できる病気などのためにその尊い命を失っています。今この瞬間にも多くの子どもたちが、命を守る支援を必要としています。ユニセフは、最も貧しく、支援を必要としている人々を重点的に支援することで、さらに多くの命を守ることを目指しています。ユニセフと一緒に、世界のすべての子どもたちに生きるチャンスを届ける活動にご参加ください。ラブウォークの参加費はユニセフの支援活動を支える資金となります。

● 500 円のご支援で・・・

ビタミン A 欠乏症・はしかによる合併症を予防・治療 ビタミン A カプセル 250 錠

● 1000 円のご支援で・・・

はしかから子どもを守るための予防接種用ワクチン 23 回

● 3000 円のご支援で・・・

重度の栄養不良からの回復に役立つ栄養治療食 89 包

*ご寄附の金額は任意です。

(2022 年の情報をもとに作成 1 ドル=109 円として計算)

*輸送や配布のためのコストは含まれておりません。



【お問合せ・申し込み先】

〒108-8607 東京都港区高輪4-6-12

公益財団法人日本ユニセフ協会

団体・企業事業部ラブウォーク担当

TEL 03-5789-2012 FAX 03-5789-2032

Email アドレス event-dr@unicef.or.jp